

千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業 報告

千葉県リハビリテーション支援センター

(千葉県千葉リハビリテーションセンター)

事業名	千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業
事業開始年度	2001 年度（平成 13 年）
主管課	千葉県健康づくり支援課地域リハビリ班
県の概況	市町村数：54。二次保健医療圏域数：9。高齢化率：27.1%（R2 国政調査）
体制	<p>県リハ支援センター：1 か所</p> <p>地域リハ広域支援センター：9 か所（二次保健医療圏域ごとに 1 か所）</p> <p>ちば地域リハ・パートナー※：172 機関（2022 年 7 月末時点）</p> <p>※地域リハ支援事業に協力する意思のある機関を県が指定。医療機関に関わらず参画している</p>
県リハ支援センターが担うべき機能・役割	<p>①広域支援センターへの助言、技術的支援等による事業 協力</p> <p>②広域支援センター相互の連携及び情報共有の促進</p> <p>③地域リハビリテーションに関わる先駆的事例の調査</p> <p>④地域リハビリテーション関係機関の情報共有の促進</p> <p>⑤地域リハビリテーション関係機関従事者の人材育成</p> <p>⑥地域リハビリテーション関係機関や住民等を対象とした普及・啓発</p>
2021 年度(令和 3 年度) 県支援センター 主な活動実績	<p>①広域支援センター支援に関すること</p> <p>・県支援センター主催の取組み：19 回 （担当者連絡会議、実務者意見交換会、各広域支援センターへのヒアリング、等）</p> <p>・各広域支援センター主催の取組みへの協力：39 回 （連絡協議会、パートナー会議、研修事業、その他事業運営に係ること、等）</p> <p>②小学校への出前講座：6 回（広域支援センターのサポート）</p> <p>③県主催会議等への参加・協力：7 回（県協議会、事業検討に関する会議、高齢者福祉課主管会議、等）</p> <p>④他県地域リハ支援事業への協力：1 回（福島県）</p> <p>⑤県内市町村事業への協力：30 回（地域ケア会議や通所 C 事業立ち上げに関すること、等）</p> <p>⑥ちば地域リハ・パートナー同士オンラインでつながろう 2021：2 回</p> <p>⑦地域リハビリテーション調整者養成研修（on-demand 配信 R4.3 配信）「市町村事業へのリハ専門職派遣窓口整備を考える」参加登録者 156 名</p> <p>⑧第 15 回千葉県地域リハビリテーションフォーラム（WEB 開催）「あなたと考えたい千葉県の地</p>

域リハビリテーション」参加者 51 名

- ⑨令和 3 年度国土交通省補助事業「持続可能な歩行空間における自律移動支援サービス構築に向けた検討業務」バリアフリー情報収集イベントへの協力（みんなでつくるバリアフリーマップ Wheelog!の活用）NTT データ経営研究所
- ⑩地域リハビリテーション関係機関の情報共有のためのメーリングリストの検討・整理
- ⑪災害時に備えた地域リハ支援体制の整備に関すること（千葉 JRAT 幹事会、派遣登録説明会及び意見交換会、等）
- ⑫他府県リハビリテーション支援センターとの意見交換会：5 回（京都府、兵庫県、滋賀県、広島県との意見交換会）

<近年、注力している取り組み>

- ◆ 県主管課、広域支援センターとのコミュニケーションを密にすること
 - 地域リハ支援体制の協働者である県主管課とは毎月、広域支援センターとは隔月で定期ミーティングをし、地域リハ支援事業に関する方向性の検討や情報共有を行っている。千葉県では高齢者分野に限らず、障害者、災害など幅広いテーマで議論をしている。
- ◆ 圏域を超えたつながり（ネットワーク）づくりとその醸成
 - 各圏域単位で広域支援センター、ちば地域リハ・パートナーが展開している事業を横つなぎするために、全県を対象とした意見交換や交流の機会を作っている。WEB の活用により、今までは物理的な距離のため出会うことができなかった関係者同士の交流が生まれ、課題やアイデアを話し合えるようになっている。県内の東京近郊に位置する都市部と太平洋側に位置する農村部では地域課題が異なるため、情報交換をする意義は非常に高い。
- ◆ 他府県リハ支援センターとの定期的な意見交換会の開催
 - 公的な機関が担う県リハ支援センターのあり方を見直す一環として、2020 年から広島、兵庫、京都、滋賀の府県リハ支援センターと 2～3 か月に 1 回の頻度で WEB 意見交換会を実施。各府県の体制、取り組み、課題を情報交換することで、各府県の活動を知り、自県における課題や強みを見出すきっかけとなり事業運営に欠かせないものになっている。2020 年度の千葉県地域リハビリテーションフォーラムでは、各府県の広域支援センター（圏域支援センター）担当者を招集し、広域支援センター同士の意見交換を開催し、好評を得た。

2022 年 9 月 16 日